



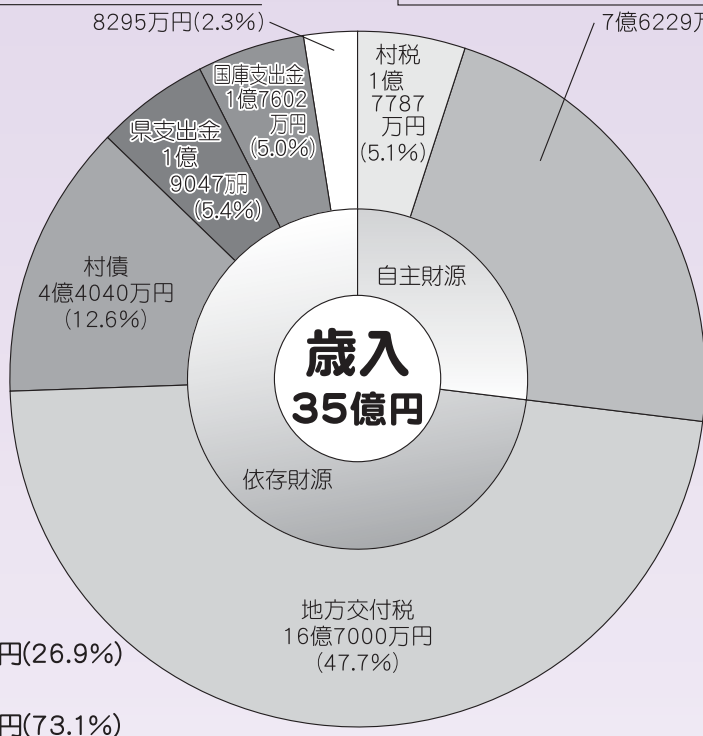
健苗と豊作を願って

4/14 水稲播種始まる

平成29年度当初予算を可決

一般会計は35億円、対前年比6・4%の減額

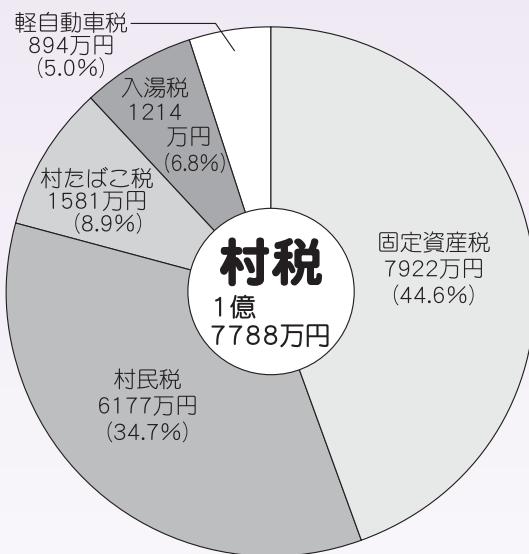
| | | | |
|--------------|--------------|-----------|-----------------|
| ●地方消費税交付金 | 4300万円(1.2%) | ●繰入金 | 4億9201万円(14.1%) |
| ●地方譲与税 | 3200万円(0.9%) | ●諸収入 | 2億875万円(6.0%) |
| ●自動車取得税交付金 | 400万円(0.1%) | ●繰越金 | 2000万円(0.6%) |
| ●寄附金 | 300万円(0.1%) | ●財産収入 | 1762万円(0.5%) |
| ●地方特例交付金 | 33万円(0.0%) | ●使用料及び手数料 | 1220万円(0.4%) |
| ●交通安全対策特別交付金 | 30万円(0.0%) | ●分担金及び負担金 | 1171万円(0.3%) |
| ●配当割交付金 | 20万円(0.0%) | | |
| ●利子割交付金 | 9万円(0.0%) | | |
| ●株式等譲渡所得割交付金 | 3万円(0.0%) | | |



自主財源
9億4016万円(26.9%)

依存財源
25億5984万円(73.1%)

村税の内訳



※金額は表示単位未満を四捨五入しているため、合計などが一致しない場合があります。

一般会計予算のあらまし

平成29年度予算は、「東成瀬村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業の着実な実施を図るもので、移住・定住対策として、若者定住促進住宅（仮称）・定住促進空き家活用住宅の整備のほか、地域間交流事業や観光物産販路拡大事業などの地方創生事業に重点をおいた予算となりました。

一般会計の予算額は35億円で、前年度に比べ2億3800万円減少し、6・9%の減額になりました。

歳入は、村債、繰入金、県支出金が減額で、地方交付税、諸収入、国庫支出金が増額となっております。

平成29年度一般会計予算

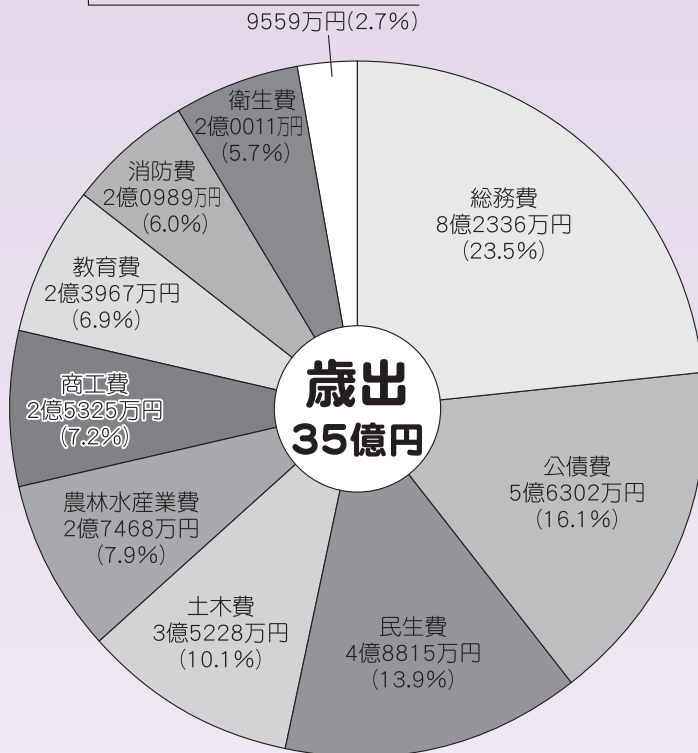
定住促進住宅整備事業に1億2673万円

若者定住促進住宅（仮称）を田子内地区に6戸整備

平成29年度の主要事業(1500万円以上抜粋)

| | |
|-------------------|----------|
| 村道新設改良事業 | 1億6056万円 |
| 定住促進住宅整備事業 | 1億2673万円 |
| 観光施設整備事業 | 1億1641万円 |
| 地域活性化資金貸付事業 | 1億500万円 |
| 防災センター管理費 | 5840万円 |
| 新規起業等育成支援事業 | 4500万円 |
| 中山間地域直接支払事業 | 3410万円 |
| 林道整備事業 | 3210万円 |
| 奨学金貸付事業 | 2779万円 |
| 観光施設管理事業 | 2420万円 |
| 消防施設整備事業 | 2400万円 |
| 土地改良施設維持管理適正化事業 | 2252万円 |
| ふれあいの森整備事業 | 2151万円 |
| 大規模肉用牛団地整備事業(繰越分) | 2032万円 |
| 県単農業夢プラン事業 | 1962万円 |
| 畜産施設管理費 | 1710万円 |
| 統合簡易水道事業(特別会計) | 3億8886万円 |

- 議会費 5952万円(1.7%)
- 労働費 1821万円(0.5%)
- 予備費 1000万円(0.3%)
- 諸支出金 702万円(0.2%)
- 災害復旧費 84万円(0.0%)



■各会計の予算額

| 会計名 | 予算額(増減率%) | |
|------|------------------|------------------|
| 一般会計 | 35億円(▲6.4) | |
| 特別会計 | 国民健康保険(事業勘定) | 3億3293万円(▲6.6) |
| | 国民健康保険(直営診療施設勘定) | 7982万円(▲27.5) |
| | 後期高齢者医療 | 2358万円(▲3.2) |
| | 介護保険(保険事業勘定) | 3億5122万円(5.3) |
| | 介護保険(介護サービス事業勘定) | 8982万円(▲73.5) |
| | 簡易水道事業 | 4億9535万円(▲42.3) |
| | 下水道事業 | 1億353万円(3.8) |
| | 小計 | 14億7625万円(▲30.5) |
| 合計 | 49億7625万円(▲15.1) | |

村の財政の健全な運営を行うための貯金である財政調整基金からの繰入金金は、4億8900万円で、前年度に比べ9000万円の減額となっていますが、大型のハード事業が続いていることから繰入金が多額となるなど、依然厳しい予算状況にあります。

歳出は、消防費、土木費、農林水産業費が増額となっております。村道改良事業や林道改良事業などの道路整備にかかる経費が増額となっているほか、防災情報センターや観光施設の設備改修など、施設維持費が増加しております。

3月定例会議

3月定例会議は、7日から17日までの11日間の審議期間で開催されました。平成29年度一般会計予算など30議案を審議、陳情1件を採択として、議員発議の意見書1件を含むすべての議案を全会一致で原案のとおり可決しました。3日目には一般質問が行われ、2議員が登壇し、村政をただしました。

条例

◆主な改正

○課設置条例の一部を改正
効率的な行政運営を図るため、組織機構を再編するもの。

課設置条例の改正内容

| | |
|-----------|-----------|
| 改正前(3月まで) | 改正後(4月から) |
| ① 総務財政課 | ① 総務課 |
| ② 企画商工課 | ② 企画課 |
| ③ 税務会計課 | ③ 税務課 |
| ④ 民生課 | ④ 民生課 |
| ⑤ 農林課 | ⑤ 環境課 |
| ⑥ 建設課 | ⑥ 農林課 |
| ⑦ 成瀬ダム課 | ⑦ 建設課 |
| | ⑧ 成瀬ダム課 |



一般質問には6名の方が傍聴に訪れました

○特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正
非常勤特別職の報酬の支給方法と費用弁償について新たな規定を整備した。

○指定管理者の指定
デイサービスセンターなるせ
団体名 社会福祉法人 雄勝福祉会
代表者 理事長 西村 信一
期間 平成29年4月1日から
平成32年3月31日まで

○指定管理者の指定
滝ノ沢ミニライズセンター
団体名 農事組合法人 滝ノ沢ファーム
代表者 代表理事 柳 一雄
期間 平成29年4月1日から
平成34年3月31日まで

議案質疑

最終日となった17日の議案等に対する主な質疑を要約してお伝えします。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

質問 農業委員、教育委員、選挙管理委員、監査委員の4組織の委員に1000円の費用弁償を支払うことになるが、この4つの委員に限定した理由は何か。

答弁 行政委員を対象として費用弁償を行うものである。費用弁償の判断はそれぞれの自治体が決定するもので、今回村では行政委員とした。指定管理者の指定について

質問 指定管理者を選定するための検討委員会など行ったものか。

答弁 指定管理者選定委員会を開催して更新が妥当と判断された。

質疑白熱

3月定例会議 予算特別委員会(3月9日・10日)

主な質疑の内容を要約してお知らせします。

平成28年度
一般会計補正予算(第9号)

繰越明許費

復旧工事はいつやるのか

質問 台風9号の復旧工事が9月に補正されているが、雪が降る前に出来なかつたか。

答弁 測量設計の業務委託手続きから入札、契約までの期間を要するため、早くて11月上旬の工事になり、雪の影響を避けるため繰越とした。

歳出

必要なものがあるのか

質問 年度末に100万円ほどの消耗品費追加は何か。

答弁 コピー用紙などの一般消耗品のほか、追録代、別注ファイルとなっている。

説明はあったのか

質問 大規模肉用牛団地整備事業に関し、地域への説明はどのような形で行われたか。

答弁 2月21日に地区の委員に対し、事業の概要を説明している。

雪崩の心配はないのか

質問 繁殖牛舎建設箇所は雪崩の真下に予定されているが、他の場所がなかつたのか。

答弁 ウルイ地区のエリア内の状況から建設箇所を選定した。雪崩対策は、事業採択に向け県に要望している。

負担割合は

質問 森林組合への地域高性能林業機械導入補助金の市町村負担割合は。

答弁 総事業費の1/4で、民有林率と素材生産計画量の率を基に算出している。

起業した会社はあるか

質問 新規起業育成支援金が減額となっている。起業した会社はあったのか。

答弁 1事業所あり、株角右衛門という社名で、宮大育成と地場産業創出として、後継者育

成と神棚などの製品をインターネット等で販売する計画となっている。

減額の要因は

質問 ナラ枯れ対策事業費の減額は、単価が下がったのか、数量が減少したのか。

答弁 設計額と入札による落札額との差額となっている。

消防団員の減少によるものか

質問 報酬が減額されているが、団員の人数が少なくなったためか。

答弁 予算は定員の200人で措置していたが、実人員が168人であったことから減額した。

普通財産の取得は

質問 倉庫として旧そろばん塾の土地・建物を取得するが、何を入れるのか。

答弁 社会教育で使用するスポーツ用具類を格納するもので、搬入搬出し易い場所に取り取得するものである。

28年度一般会計補正予算(第9号)の主なもの

| 歳入 | |
|---------------------|---------|
| ○県支出金 | |
| 機構集積支援事業補助金の減 | ▲1848万円 |
| 県単農業夢プラン事業費補助金の増 | 273万円 |
| 大規模肉用牛団地整備事業費補助金の増 | 2032万円 |
| ○寄附金 | |
| さわやかなるせ仙人の郷寄附金の増 | 267万円 |
| ○諸収入 | |
| 雑入の増 | 909万円 |
| ○村債 | |
| 過疎対策事業債の減 | ▲6780万円 |
| 緊急防災・減災事業債 | 1000万円 |
| 歳出 | |
| ○総務費 | |
| 湯沢雄勝広域市町村圏組合負担金の減 | ▲255万円 |
| 設計等委託料の減 | ▲473万円 |
| 本工事費の減(定住促進住宅等) | ▲2300万円 |
| ○民生費 | |
| 国保特別会計(事業勘定)繰出金の追加 | 1341万円 |
| 介護保険特別会計(事業勘定)繰出金の減 | ▲330万円 |
| ○衛生費 | |
| 簡易水道事業特別会計繰出金の減 | ▲1145万円 |
| 下水道事業特別会計繰出金の追加 | 355万円 |
| ○農林水産業費 | |
| 大規模肉用牛団地整備事業費補助金 | 2032万円 |
| 地域高性能林業機械導入事業補助金 | 209万円 |
| ○商工費 | |
| 新規起業等育成支援金の減 | ▲2000万円 |
| ○諸支出金 | |
| 財政調整基金積立金の追加 | 6700万円 |
| さわやかなるせ仙人の郷基金積立金の追加 | 267万円 |

平成29年度
当初予算

疑問を一掃 徹底審査



歳入

循環拠点施設利用料の算定は

質問 利用料としていただく時間と日数は。

答弁 1日の稼働時間を6時間として240日分となっている。

山村開発センター使用料は

質問 山村開発センター改修後、一部をテナントとして貸し出す計画があるがその使用料は。

答弁 村から職員を採用できる業者を求め交渉している。金額が妥当か検討し、補正で対応したい。

短期教育留学受入事業受託金

質問 昨年は留学者がなく残念な結果だったが、今年は来ていただけるのか。

答弁 手上げ方式で必ずとは言えないが、是非多くの方に来ていただきたい。

歳出

【総務費】

有害物質だとわかるが

質問 処理費1383万円のPCBはどのようなものか。

答弁 庁舎で使用した高圧トランス等の中の油脂類に含まれるものである。

乗る人の立場にたつて

質問 購入するマイクロバスは、現在役場で保有しているものより大型のものか。

答弁 平成13年度に購入したマイクロバスの更新で、同程度のものを予定している。

村で頑張してほしい

質問 地域おこし協力隊は、どのような方を募集するのか。

答弁 農業に従事してくれる方、地場食材を使用した料理をしてくれる方の2名を募集している。

一般コミュニティ助成事業

質問 五里台地区の集会所整備は、現在の場所に建て替えるのか。

答弁 規模は少し小さくなるが、現在の場所に建て替えるを予定している。

花やかなるせ推進事業

質問 各地区で花植えを行っているが、種類が同じであり、特色ある花壇づくりができないのでは。

答弁 種類を増やすことができないか協議をしている。地域づくりの活動補助金を活用するの、も一つの方策と考える。

自然エネルギー設備導入事業

質問 ペレットストーブに対する補助で、太陽光発電システムは申請がない見通しか。

答弁 太陽光発電とペレットストーブの補助をまとめたもので、それぞれ1件を見込んでいます。



改修が予定されている五里台生活改善センター

定住促進住宅整備事業

今後の整備計画は

質問 29年度に田子内地区へ6戸整備され、今後必要になった場合に滝ノ沢地区に整備されるのか。

答弁 田子内地区6戸、滝ノ沢地区4戸で計画を立て、29年度と30年度で10戸建設するものがある。

落雪型がよいのでは

質問 雪下ろしをする構造になっているが、入居者が下ろすのか村が行うのか。落雪型にした方がよいのではないか。

答弁 現段階では、平らな屋根で、入居者が下ろすことで考えている。

定住促進空き家活用事業

質問 田子内地区の新規1戸の場所はどこか。手倉地区の2期工事はどのような工事になるのか。

答弁 新規1戸は田子内字上野で、手倉の2期工事は窓の設置と軒天の改修となっている。

観光物産販路拡大事業

大きなお金が投じられている

質問 首都圏アンテナショップの運営費等の委託料300万円と使用料及び賃借料300万円の内容は。

答弁 店舗運営費として人件費1人分と店舗の借上げ料を村で支援するものである。

アンテナショップむらむすび

質問 事業費を投じたけれども成果が見えないのでは困る。販路がどれだけ拡大するのか。

答弁 村の食材を活用した飲食店型で計画し、おにぎりを中心としたものとなっている。

【民生費】

子育て団体支援助成金

質問 各集落の親子会活動に対する助成はあるのか。

答弁 村内の親子会11団体に対して助成を行っている。

【衛生費】

口タフクチン接種助成

質問 診療所で接種した場合に全額助成となるがフクチンの単価はいくらか。

答弁 2回接種するものが1回1万5000円、3回接種するものが1回9000円となっている。

【農林水産業費】

仙人百合の販売は

質問 実証試験として数年経つが球根の増産にいたっていない。目標はどこにしているのか。

答弁 増殖が進み次第に販売できればと考えている。

助成の考え方は

質問 新規作物導入奨励事業の5品目への助成の考え方は。

答弁 県単補助事業を活用できる認定農業者へのステップとして村で補助するものである。

畜産施設維持管理借上料は

質問 機械借上料543万8000円は何か。

答弁 ウル井地区への農道除雪と公共牧場の牧道補修の機械借上げとなっている。

手倉西堰の工事内容は

質問 土地改良施設維持管理適正化事業による手倉西堰の改修工事内容は。

答弁 揚水機の入替えと建屋の外壁補修を予定している。

ナラ枯れ対策事業の内容は

質問 ナラ枯れ対策事業とナラ林健全化事業の業務委託内容は。

答弁 ナラ枯れ対策は、樹幹注入予防と立木燻蒸による殺虫で、ナラ林健全化は、枯れた木を伐採処理するものである。

ふれあいの森整備事業

質問 天正の滝遊歩道等改修の実施設計業務を行うが、改修後の活用を考えているか。

答弁 既存の施設が危険な状態にあり補修するもので、整備後は担当課と協議して進めたい。

【土木費】

ねりんピック前に

質問 パークゴルフ場の芝生管理補修はいつ頃入れられるか。

答弁 年度当初に発注し、ねりんピックに間に合うよう計画している。

【消防費】

備蓄品は

質問 災害用備蓄品の更新は何を購入するのか。

答弁 非常食として粉ミルク、消毒液などの衛生用品と生活用品の毛布を購入する予定としている。



東京都神楽坂にOPENした「むらむすび」



佐々木 健夫 議員

クン炭施設の収支をトントンにするべき

村長 肥料販売よりもブランド米等を作る対策が目的

質問 村直営クン炭製造施設の29年度予算では、収支が500万円余り赤字になるようだ。クン炭と堆肥の混合肥料を販売することであったので、販売を早めて、収支をトントンにするべきではないか。

村長 村で直接売るか指定管理者、赤べこ仙人ファームでやるのかは今後詰めていかなければならない。

道の駅採算見直し

質問 道の駅のアンケートを回収したが、建設した場合採算が取れる見通しがあるか。

村長 道の駅は構想の段階であるが、造るとすれば村の場合

は立地条件からして、採算は厳しいと考える。しかし村の地方創生総合戦略に計画されているものであり、行政上、雇用の場、地域活性化のために必要だということなどを念頭に、今後各層の意見を聞き決定していく方向になると考えている。

質問 岩井川、滝ノ沢の直売所のスタッフと出品者の方々と協議した結果、必要とこのことであったか。

村長 全体的な意見の中で出てきた構想であり、組織、団体等の協議は、今後検討していくことになる。

主要事業の実績評価が必要

質問 近年、村有の箱物建設が集中している。事業の目的に対してどれ位の実績があるかを評価するべきではないか。

村長 これまでも評価と反省をしながら進めてきたが、今後は地方創生の村総合戦略推進委員会で検証していただくことにしているので、基礎資料を出してしっかり評価していただく。

村有建物の維持管理費を含めた財政見直しが必要

質問 今後スキー場、農業関連施設などの維持管理費が増える。将来の村財政が心配だ。

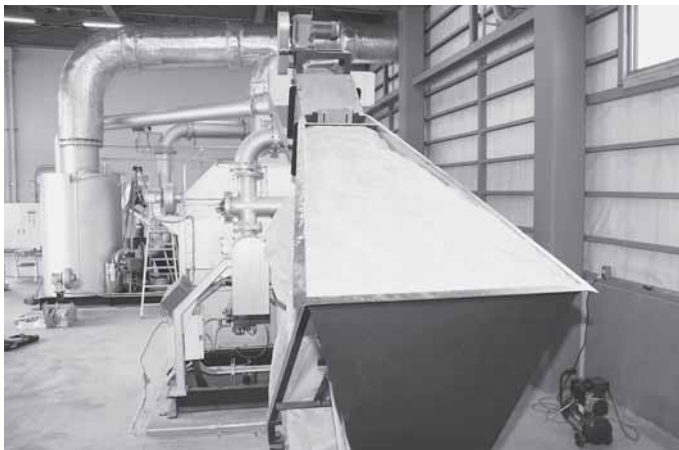
これら施設の維持管理費を含めた村の財政見直しが必要ではないか。

村長 公共施設の維持管理費は、今後大きな財政負担が伴ってくることは課題になる。総務省の指示に基づいて、平成28年度から5カ年計画で、施設の改修計画を立てていくことになっている。今後あらゆる財政手法を考えて具体的に検討していきたい。

30年度からの財政計画を策定するべき

質問 29年度で終わる村の財政計画に比べて、1・9倍近い決算額になっている。30年度からは実績に合う財政計画を作るべきではないか。

村長 村の財政は、国の財政に大きく左右される。国からの歳入の見通しが予測しがたい要素がたたくさんあり、5年、10年先を見通した財政計画を立てることは無理だと言っても過言ではないと思っ



循環拠点施設のモミガラ炭化設備

質問 混合肥料を販売するということがあるが、村で販売業務ができるか。

村長 この施設は、30年度の減反廃止の大きな転換期対策として、クン炭を施して米のブランド化、良質農作物を作る循環型農業の構築を目指すものであり、採算のための肥料販売等については今後検討していくことになる。

村政を問う

佐々木 正 利 議員



赤べこの肉が口に入らない

村長 4月から手に入るようにしたい



短角牛「なるせ赤べこ」を食卓へ

質問 村の特産品として推し進めている短角牛肉が食べたくても、どこで販売しているか分からない、村外の方に販売先を聞かれても分からない現状がある。業者間での取引で精一杯なのか。村内に販売店があれば村の活性化につながると思うが、気軽に買うことのできる対策はあるか。

村長 短角牛の販売については、なかなか思うように、我々の地元にも入らないという事で苦慮している。今、非常に売れ行きが良いという事で、業者間の取引が活発で、一般になかなか回ってこない現実があるように感じている。ただ、4月からは何とかそういったことがないようには

て、村内でも具体的に販売できるように、村内の方々が手に入れることができるように考えていきたい。

職員をネットワーク連絡会に参加させては

質問 高齢者対策として、年2回ネットワーク連絡会を開催している。この会に、地区担当広報配布職員を参加させることにより、悩みごとや病気の状況を聞くことで広報配布の際、声かけや見回り活動に大いに役に立つと思うが。

村長 ネットワーク連絡会に職員が参加して直接村の方々と会話しながら課題を見つけ、それを少しでも改善していく努力は必要な気がする。社会福祉協議会事務局と協議をしながら、ネットワーク連絡会の担当の方、地域の方々にも相談し、ぜひ取り組んでいきたい。

接客に向けた対策を

質問 役場庁舎2階、3階の改修工事は3月で完了する。この機会に、来庁者に対しての接客について、勉強会等を開催してみたいかがか。接客対応に不満を感じている方もあるし、今年は、ねんりんピックが開催され、多くの来庁者があると予想されるので、職員の接客向上に向けた考えは。

村長 お客さんとの会話、接遇、そして接触した際の言葉遣いや挨拶の仕方が大事ではないかと思う。十分に接客、接客の研修等は進めているが、これからも定期的にもやらなければいけない課題として、対応していきたい。職員の中には、口下手な人もあるし、もしかして、ぶつきらほうな職員もいるかもしれないので、十分反省させ不快な思いをさせない対応をするよう指導してまいりたい。

3月定例会議議決事項名

| | |
|--|-------------------------------------|
| 課設置条例の一部を改正する条例 | 平成28年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号） |
| 個人情報保護条例等の一部を改正する条例 | 平成28年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号） |
| 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 | 平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算（第5号） |
| 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 平成28年度下水道事業特別会計補正予算（第4号） |
| 税条例の一部を改正する条例 | 平成29年度一般会計予算 |
| 税条例等の一部を改正する条例 | 平成29年度国民健康保険特別会計（事業勘定）予算 |
| 包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 平成29年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）予算 |
| 道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 | 平成29年度後期高齢者医療特別会計予算 |
| 秋田県町村電算システム共同事業組合規約の変更 | 平成29年度介護保険特別会計（保険事業勘定）予算 |
| 指定管理者の指定 | 平成29年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算 |
| 指定管理者の指定 | 平成29年度簡易水道事業特別会計予算 |
| 平成28年度一般会計補正予算（第9号） | 平成29年度下水道事業特別会計予算 |
| 平成28年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号） | 平成29年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）への繰入れ |
| 平成28年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第4号） | 平成29年度簡易水道事業特別会計への繰入れ |
| 平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） | 平成29年度下水道事業特別会計への繰入れ |

2月臨時会議

2月6日に臨時会議が開かれ、補正予算2件を全会一致で可決しました。

一般会計補正予算（第8号）の主なもの

■歳入

- 国庫支出金 臨時福祉給付金給付事業費補助金（経済対策分） 1024万円
- 繰入金 財政調整基金繰入金の増 2000万円

■歳出

- 総務費 除排雪等委託料 648万円
- 民生費 臨時福祉給付金給付事業費（経済対策分） 1032万円
本工事費の追加（児童館エアコン設置工事） 173万円
- 土木費 除雪臨時職員賃金の追加 60万円
村道除雪委託料の追加 700万円
除雪機械等借上料の追加 130万円



快適な環境に
（児童館創作活動コーナー）

請願・陳情

3月定例会議には2件の陳情が提出され、所管する常任委員会に付託し審査の結果、次のとおり決定しました。

| 件名 | 審査結果 |
|--|----------------|
| 地域別最低賃金の引きあげと全国一律最賃制の実現、中小企業支援の拡充を求める陳情 （陳情者）秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 渋谷 一 外1名 | 採 択 （意見書提出） |
| 共謀罪（テロ等組織犯罪準備罪）法案の国会提出に反対する陳情 （陳情者）秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 渋谷 一 外1名 | 継続調査 |

産業建設常任委員会管外視察

2月6日、産業建設常任委員会で美郷町堆肥センターを視察しました。美郷町では、畜産農家の環境条件の改善と畜産資源を土壌還元し農業生産基盤の有機的機能の向上と、農業振興に寄与することを目的に、堆肥センターを設置し、町とJA、町内の畜産団体や園芸団体が出資し設立された「株式会社 美里の大地」に管理運営を委託し、安価で安全な農業資材の製造・販売を行っていた。



東北初のロータリーキルンで混合と一次発酵を行う（φ3m×21.5m×2基）

委員会活動



畜産農家から排出される牛ふん・豚ふん・鶏ふんとモミガラを原料に堆肥を製造



製品の安心堆肥「美郷の大地」
年間約740㎡製造、約2800万円の売上



各担当課長から説明を聴取

総務教育民生常任委員会調査

2月14日、総務教育民生常任委員会は調査活動として、公共施設の維持管理費と財政状況の見通しについて、総務財政課長に出席を求め状況の説明を受けた。

産業建設常任委員会調査

2月14日、産業建設常任委員会は調査活動として、循環拠点施設の稼働状況と食肉加工センターの運営状況について、企画商工課長に出席を求め状況の説明を受けた。



育苗用ビニールハウスの準備作業を行う菅原代表

この人に聞きたい

かほ Kahō の 突撃

いんたびゅう

今回は、農事組合法人手倉ファーム代表の菅原守氏にインタビューしました。

- かほ** 手倉ファームの運営状況はいかがですか。
- 菅原** 村内の他のファームよりは劣るかもしれないが、それなりにやっている。
- かほ** 経営面積はどれくらいありますか。
- 菅原** 当初は12町歩だったが、現在では27町歩になっている。
- かほ** 水稲のほかに栽培しているものは何かありますか。
- 菅原** 加工用トマト、そば、かぼちゃを少々。そばは、機械が無いので刈取り以降の作業を委託している。
- かほ** 去年の作柄はどうでしたか。
- 菅原** 米はあんまり良くなかったし、トマトはムジナにやられてしまつて……
- かほ** ムジナってタヌキ!? トマトを食べるんですか?
- 菅原** なんでも食べる! 自家用野菜もやられて、収穫もままならなかった。
- かほ** 手倉ファームならではの栽培方法などありますか。
- 菅原** 特別こだわっているものは無いが丁寧にやるだけ。
- かほ** 新たに作り組んでみたい作物などありますか。
- 菅原** 色々やってみたいが人手が足りないし、山間部なので厳しい。
- かほ** 雪消えに向けて農作業など始まっていますか。
- 菅原** ビニールハウスのビニール張りをやっている。今日は風が強くてダメだ。
- かほ** 今年は雪の消え方が遅いように感じますが、影響などありますか。
- 菅原** 雪消えが遅い! このままでは作業全部に影響がでる。田植えも遅くなるだろう。
- かほ** 最後に、手倉ファームの今後に向けての意気込みをお願いします。
- 菅原** せっかくミニライセンタ―を建ててもらったので、リタイヤしないように頑張っていきたい。
- かほ** 今日はお忙しいところありがとうございます。豊作をお祈りいたします。

暫時休憩

さんじ きゆうけい

▼雪が少なかった冬も終わり春めて来たが、今年は皆感じていたように雪消えが本当に遅かった。

▼学校では卒業と入学の季節が過ぎ、新生活が始まった。

ここ何年か特に目立つようになったと感じるのが、学生や地域の人、より地元へ根差した取り組みが進んでいる事。

食や、まち作りなど、昔からそうだったのかなと考えてみる。

▼JR秋田駅では、数年前から秋田公立美術大学の研究プロジェクトの一部で、秋田を活かしたりニューアルが少しずつ進んできた。街へ波及の始まりであるとか。

▼地方に目が向き始めてからなのか、少し変わってきたように思う。地元への関心が益々高まってきているのではないか。

▼まずは田植えに向けて頑張ろう。

(委員・佐々木 修)